



ユーザーズマニュアル

安全に使用するために

機械を安全に取り扱うための説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

刺繍機向け

はじめに

このたびは、タジマ刺繍機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解されたうえで機械をご使用ください。
尚、詳細において製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

本書の位置づけ

本書をはじめ、製品に関わる資料は以下のように構成されています。目的や用途によって必要な資料を参照してください。ユーザーズマニュアルおよびその他資料は、PDF ファイルとして付属の DVD に保存されています。

■ユーザーズマニュアル

安全に使用するために (本書)

機械を安全に取り扱うための説明書です。ご使用前に必ずお読みください。

基礎知識

機械を取り扱ううえで知っておく必要がある、機種共通の基礎的な知識・作業の説明書です。
はじめて、もしくは機械に不慣れな方はまずお読みください。

操作編

機械の操作、刺繍方法、保守に関する手順の説明書です。

パラメータ設定

各種パラメータに関する説明書です。

枠交換

枠の交換手順に関する説明書です。
機種によっては付属しない場合があります。

各種資料

電気系統図などの技術資料です。

■その他マニュアル

クイックガイド




刺繍方法や、よく使用する機能の操作手順に関する早見シートです。
手元に置いておくと、すぐに参照できて便利です。

オプション装置

各種オプション装置のセットアップ、操作、保守に関する説明書です。

安全についての表記と意味




機械の取り扱いにおける注意事項を以下のように表記しますのでお守りください。

表記	表記の意味
 危険	死亡、あるいは重傷 ^{※1} となる危険性がきわめて高い注意事項
 警告	死亡、あるいは重傷 ^{※1} となる可能性のある注意事項
 注意	軽傷 ^{※2} 、あるいは物的損害が生じる可能性のある注意事項



※1：感電、怪我、骨折などで後遺症をもたらすもの、あるいは治療に入院や長期の通院を要するもの。

※2：治療に入院や長期の通院を要さないもの。

本文中で使われる図記号の意味は以下のとおりです。

図記号	図記号の意味
	禁止事項
	感電するおそれのある事項
	安全のために守っていただきたい事項

その他の表記について

表記	表記の意味
	縫い上がりなどに影響する注意事項を示します。
	知っておいていただきたい知識、知っておくと便利な知識を示します。

免責事項ほかについて

- ・ 機械の外観や仕様、およびマニュアルの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 画面の表示内容や図は、機械の仕様、ヘッド数や針数、オプション装置の有無によって異なる場合があります。
- ・ マニュアルの記載内容を守らないことにより生じた損害、およびマニュアルに記載された内容以外の修理、分解、改造による故障・損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 弊社の承諾なく、マニュアルの一部または全部を複写、複製、転写することを禁じます。

第 1 章

安全に使用するために

-
- 1. 取り扱いに関する注意 6
 - 2. 電源に関する注意 9

第 2 章

警告シールについて

-
- 1. 警告シールの種類 10
 - 2. 貼付位置 11

第 3 章

安全装置

-
- 1. 非常停止スイッチ 16
 - 1-1. 非常停止スイッチの配置 16
 - 1-2. 非常停止スイッチの押下 18
 - 1-3. 非常停止スイッチの解除 19

第1章

安全に使用するために

誤った使い方によって生じる火災や感電、怪我などによる人への傷害、火災による財産などの損害を未然に防ぐため、以下の内容を必ずお守りください。

1. 取り扱いに関する注意



⊘ 機械を用途以外に使用しない

タジマ刺繍機は業務用の機械です。繊維製品、半製品、および類似の素材への刺繍以外には使用しないでください。

⊘ 機械の分解、修理、改造をしない

火災や感電、怪我や故障の原因となります。修理が必要な場合は、販売代理店までお問い合わせください。

⊘ バースイッチをグリップの代わりに使用しない

バースイッチのある機種では、バースイッチをグリップの代わりに掴んだりしないでください。機械が不意に起動し、負傷するおそれがあります。

⊘ 電磁波を発生させる機器を近づけない

電源ボックスや操作パネルなど制御回路の近くで携帯電話のような電磁波を発生させる機器を使用しないでください。機械が誤作動するおそれがあります。

⊘ カバーを外さない

シャフト、プーリーなどのカバーを外さないでください。また、カバーを外したまま機械を運転しないでください。可動部に巻き込まれるおそれがあります。

⊘ 運転中は、可動部に手や顔を近づけない

運転中は、針、釜、天秤、枠駆動部に手や顔を近づけないでください。針による手などへの突き刺し、折れた針の飛散による負傷、釜や枠との接触による負傷など、怪我を負うおそれがあります。

⊘ 子供を機械に近寄らせない

事故防止のため、子供が機械の近くに立ち入らないようにしてください。

⊘ 体内植込型の医療用電子機器を近づけすぎない

機械（調整台）の内部には強力な磁石が使用されているため、心臓ペースメーカーなどの機器が誤作動するおそれがあります。身体に異変を感じたときには、直ちに機械から離れてください。

! 操作方法を習得したうえで機械を操作する

マニュアルをよく読み、記載内容を確実に理解した上で機械を操作してください。

また、操作方法について十分な訓練を受けた方が操作してください。

身体に障害がある方や、操作に関して十分な知識・経験がない方が使用するときは、管理者または監督者が監視・指導してください。

⚠ 警告

- ❗ 作業に適した服装、身なりで機械を操作する**
可動部に引っかかったり、巻き込まれるおそれのある服装、身なりで作業しないでください。
- ❗ 機械は1名で操作する**
不意の起動による事故を防止するため、原則として機械は1名で操作してください。
複数で作業するときは、可動部の近くに作業者がいないことを確認の上で機械を操作してください。
- ❗ 機械は立ち入りを監視できる環境下で使用する**
関係者以外の方が操作することがないようにしてください。
- ❗ 刺繍の仕上がりを確認するときは、機械を停止させる**
運転中は、手や顔を近づけないでください。針や枠などに接触して負傷するおそれがあります。
- ❗ 以下の作業時は、電源を切る**
不意の起動による事故を防止するため、電源を切って作業してください。
 - ・針を交換するとき
 - ・糸通しや下糸の交換に長時間要するとき
 - ・原反枠に生地を張るとき
 - ・テーブルに乗って作業するとき
 - ・機械の後側へ立ち入るとき
- ❗ 以下の際は、電源プラグをコンセントから抜く**
機械の電源を切り、電源プラグを抜いてください。火災、感電、故障、事故の原因となります。
 - ・機械の使用後
 - ・機械を長期間使用しないとき
 - ・機械の調整、注油、保守を行うとき
 - ・機械から離れるとき
 - ・雷が鳴り始めたとき
- ⊘ 補助テーブルを下げた状態で運転しない**
補助テーブルがある仕様では、糸通しや調整などの作業後は、補助テーブルを持ち上げた状態にして確実に固定してください。
補助テーブルを下げた状態で運転すると、枠に挟まれるなどの事故につながるおそれがあります。
- ❗ 煙、異臭、異常音が発生したときは、機械の使用を直ちに中止する**
機械に異常を感じたときは、電源を切り、機械の使用を直ちに中止してください。
また、電源プラグをコンセントから抜き、販売代理店までお問い合わせください。
- ❗ 機械の調整、保守などの作業は適切な訓練を受けた人が行う**
注油や調整などの保守作業は、適切な指導や訓練を受けた方が行ってください。また、グリスアップ、駆動部の点検、および機械の修理は、販売代理店に依頼するか、弊社が指名し訓練を受けたサービス要員が行ってください。
訓練を受けていない方の作業は、怪我や感電などの重大な事故につながるおそれがあります。
- ❗ 万一、機械から発火したときは、電気火災用消火器を使用する**

注意

- !** 機械の設置後1週間程度は「ならし運転」をする
機械寿命の延長や予期せぬトラブル防止のため、「ならし運転」として最高回転数の7割程度で稼働させてください。
- ⊘** 曲がった針や素材に合っていない針を使用しない
- ⊘** テーブルの上に物を置かない
- !** テーブルの上に乗って作業するときは、以下の事項を守る
 - ・テーブルを付属のサポートで支える
テーブルをサポートで支えてないときは、テーブルの上に乗らないでください。テーブルが変形するおそれがあります。
 - ・枠可動部や枠などを踏みつけない
枠可動部や枠などを踏みつけると、損傷するおそれがあります。
- ⊘** 刺繍の最中は、生地を引っ張ったり押ししたりしない
- !** 保守作業は定期的に行う
保守作業を怠ると、部品の早期劣化や不具合が発生するおそれがあります。
また、保守作業を怠ったことにより生じた損害については、「保証の範囲外」と判断される場合もあります。
- ⊘** 針が貫通できないような硬い素材や分厚い素材を縫わない
- !** 機械を廃棄するときは、設置されている国の法規に従う

2. 電源に関する注意

警告

電気関係のボックスは開けない

電気関係のボックスは弊社が指名し訓練を受けたサービス要員以外は手を触れないでください。内部には高電圧の部分があるため、触れると感電するおそれがあります。

電源コードや配線コードは適切に取り扱う

以下の事項をお守りください。適切に取り扱わないと、コードが破損し、漏電による火災や感電の原因となります。

- ・傷つけたり、加熱したり、加工したりしない
- ・引っ張ったり、束ねたり、ねじったり、折り曲げたりしない

電源コードや電源プラグが破損しているときは、機械の使用を直ちに中止する

電源コードや電源プラグの破損は、漏電による火災や感電の原因となります。破損しているときは、機械を使用しないでください。また、電源プラグをコンセントから抜き、販売代理店までお問い合わせください。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電するおそれがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

電源プラグの電極に金属などが接触すると、火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く

電源コードを引っ張ると、芯線の露出や断線などにより電源コードが破損し、漏電による火災や感電の原因となります。

電気関連部に水や薬品、注油で使用する油などが入らないようにする

回路がショートして火災や感電の原因となります。水や薬品、注油で使用する油が入った場合は、機械を使用しないでください。また、電源プラグをコンセントから抜き、販売代理店までお問い合わせください。

注意

機械は常時、漏洩電流に加えて高調波・サージ成分からなる漏洩電流が電源線に流れています。このため、工場で使用する漏電遮断器や漏電リレーの選定と設置を正しく行わないと不良動作を起こすことがあります。電源コードの接続については、以下の事項をお守りください。

! 本電源線に対する漏電遮断器や漏電リレーは、高調波・サージ対策が施されたものを使用する

高調波・サージ対策が入手できず、やむを得ず一般品を使用するときは、高調波・サージ成分による漏洩電流分をカバーするために漏電容量の大きなものを使用してください。また常時、漏洩電量の管理を十分に行ってください。

! 電源コードの接続にあたっては、ノーヒューズブレーカ1つにつき刺繍機1台とする

主軸モータ等の出力低下、停止位置不良やそれに伴う色換え不良、柄ずれなどが生じる原因となります。なお、機械1台あたりに必要な漏電遮断器や漏電リレーの漏電容量については、販売代理店までお問い合わせください。また、高調波・サージ対策を施した具体的な製品については、販売代理店または電気専門の技術者にご相談ください。

第2章 警告シールについて

機械には、操作やメンテナンス作業を行うときに危険性が潜在する箇所に対して警告シールが貼付されています。機械を使用するときは警告シールに記載されている内容を必ずお守りください。

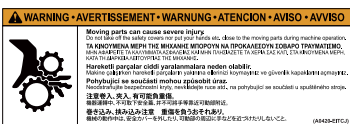
警告

警告シールをはがしたり、傷つけたりしないでください。警告シールがはがれたり、読み取れなくなったときは、販売代理店までお問い合わせください。また、警告シールを貼り直すときは、同じ位置に貼ってください。

1. 警告シールの種類

機械に貼付されている警告シールには、以下の種類があります。

A 巻き込み注意

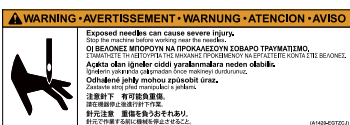


F 高電圧注意



感電、やけど、または死亡にいたるおそれあり。弊社指名のサービスマン以外はカバーを開けないこと。カバーを開けるときは、電源を切ってから4分待つこと。

B 針元注意

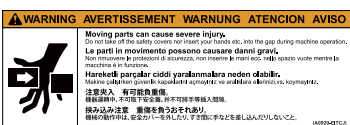


G 巻き込み注意



巻き込みのおそれあり。弊社指名のサービスマン以外はカバーを開けないこと。

C 挟み込み注意



H 挟み込み注意



挟み込みのおそれあり。運転中は、手を近づけないこと、触らないこと。

D 挟み込み注意

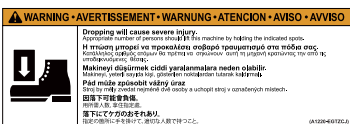


I 高温注意



高温によるやけどのおそれあり。むやみに触らないこと。

E 落下注意



J レーザー製品クラス1



K 釜注意



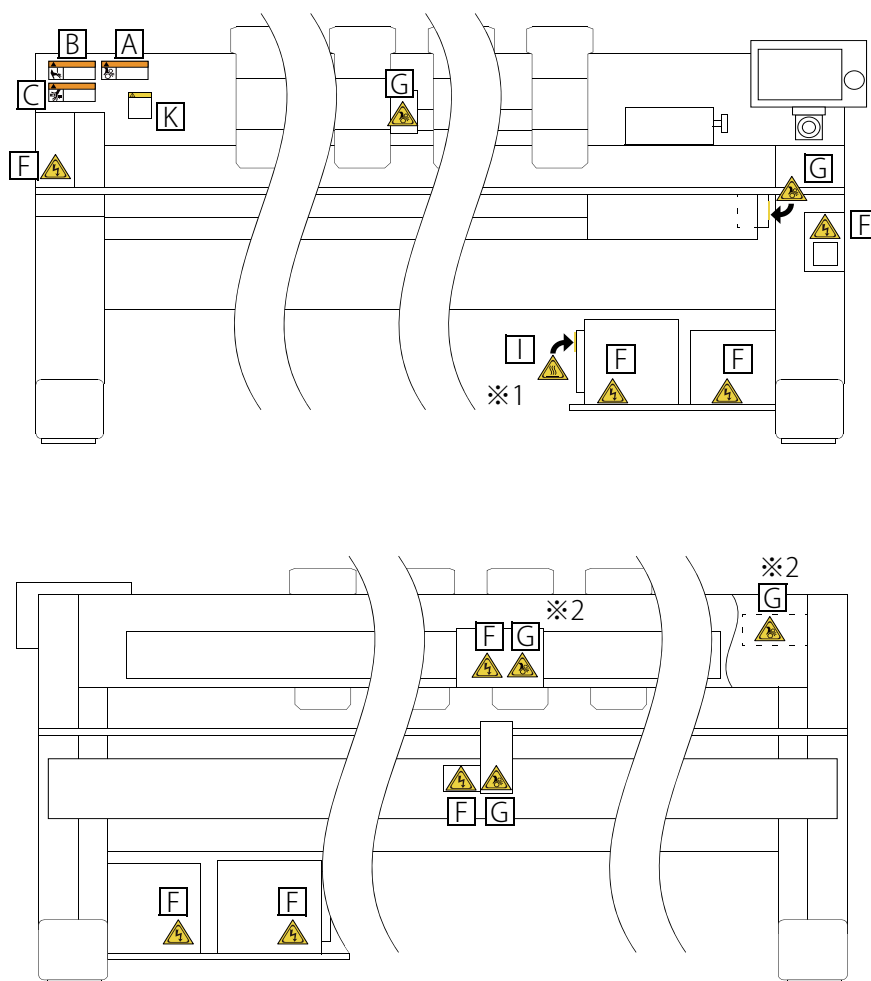
L 高電圧カバー取外し注意



2. 貼付位置

以下に、機種ごとの警告シールの貼付位置を示します。

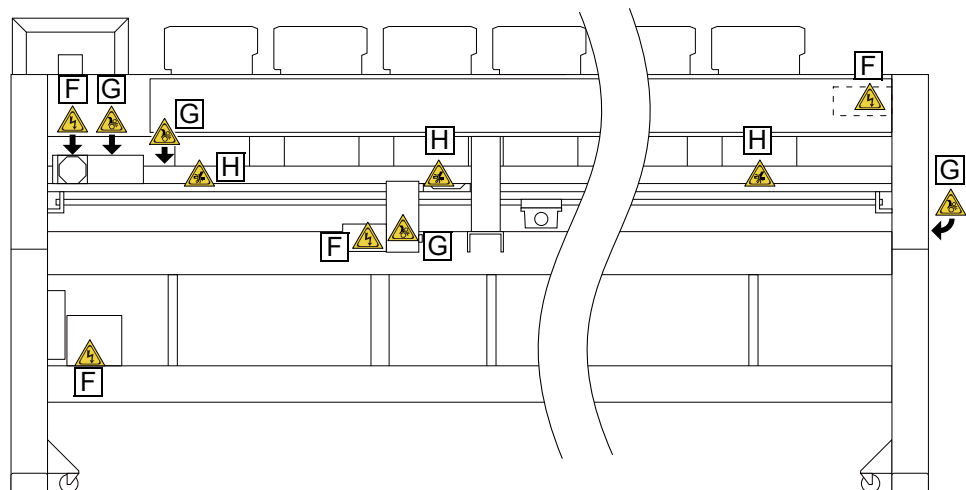
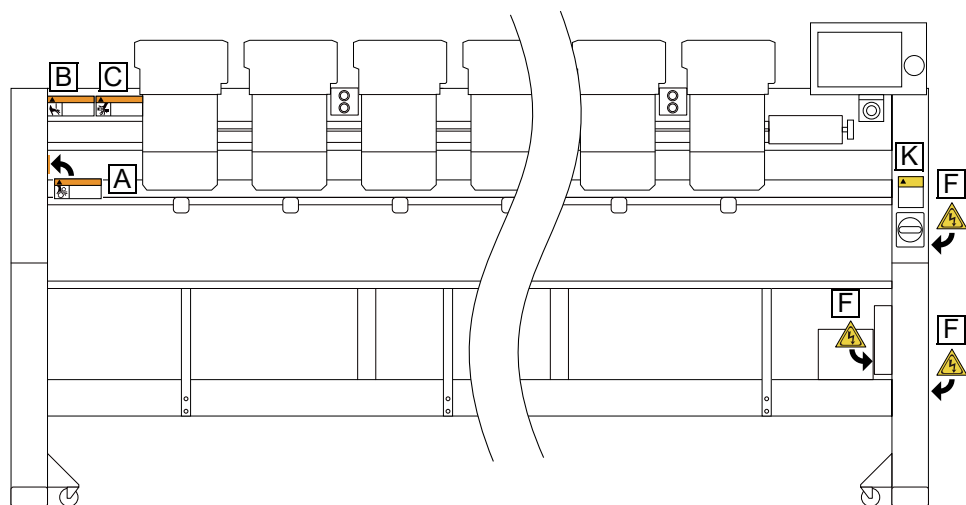
■ TMCR-VF、TMCP-VF



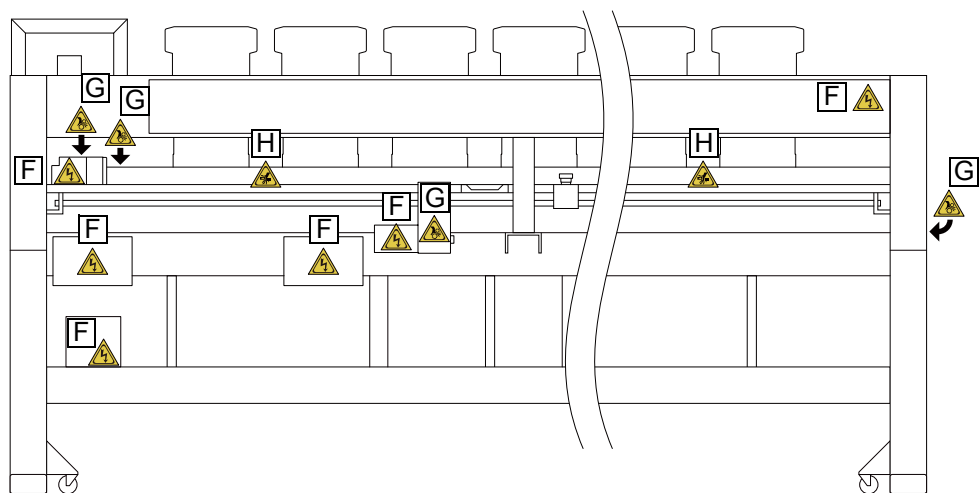
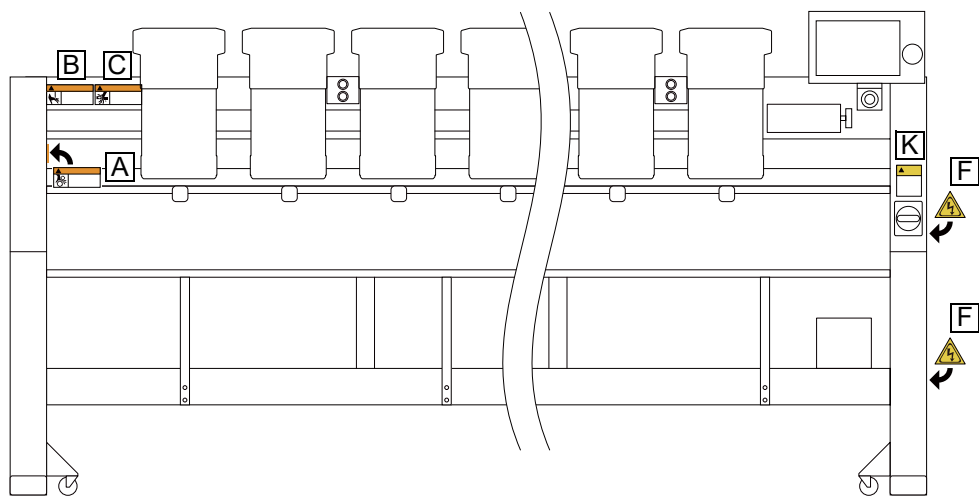
※1 電装品カバーに貼付

※2 主軸モーターの取付け位置は仕様によって異なります。

■ TMEZ-KC



■ TMAR-KC

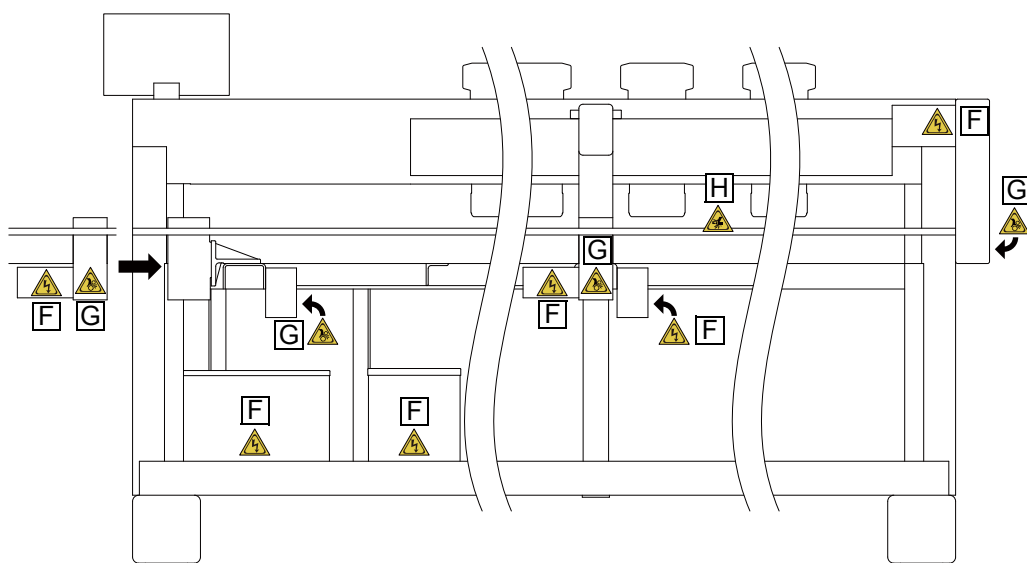
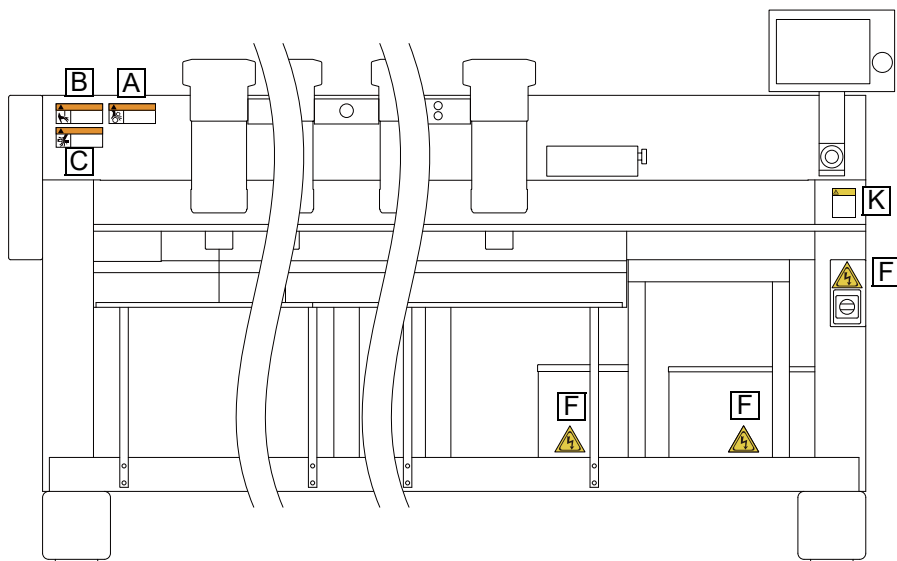


1

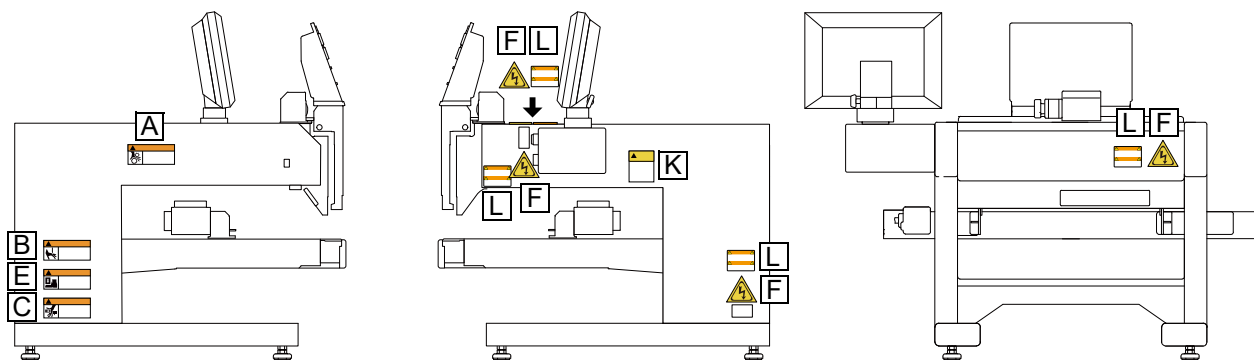
2

3

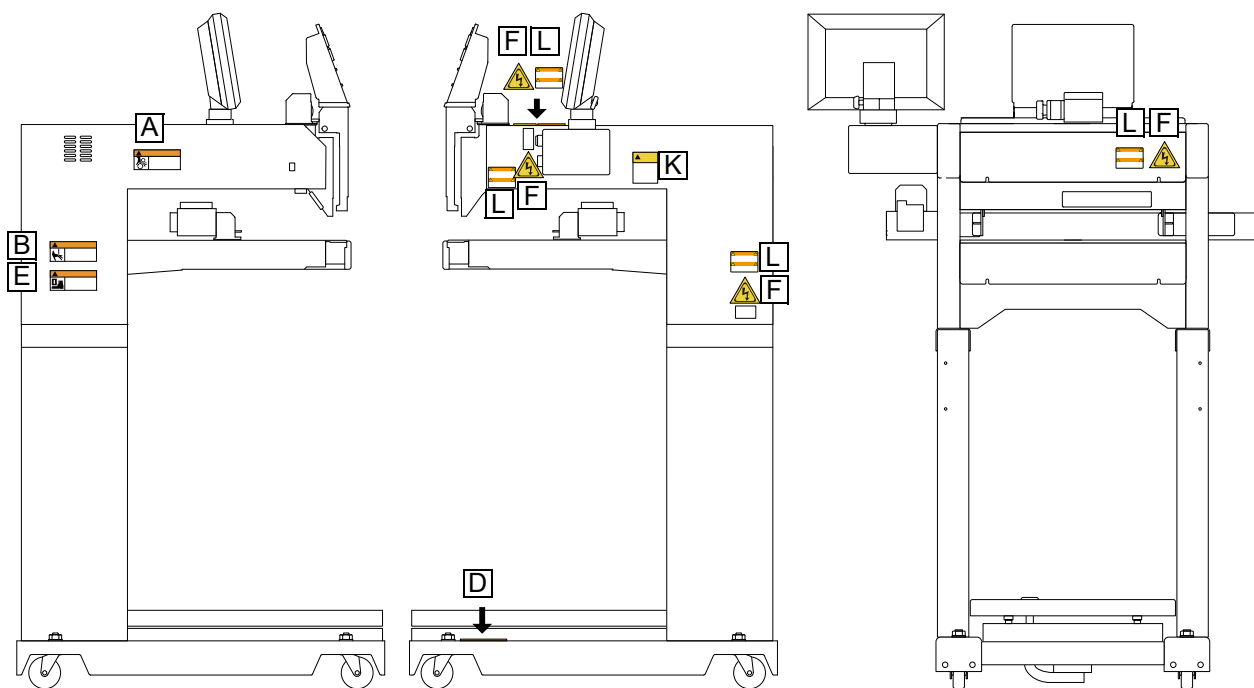
■ TMAR-VC



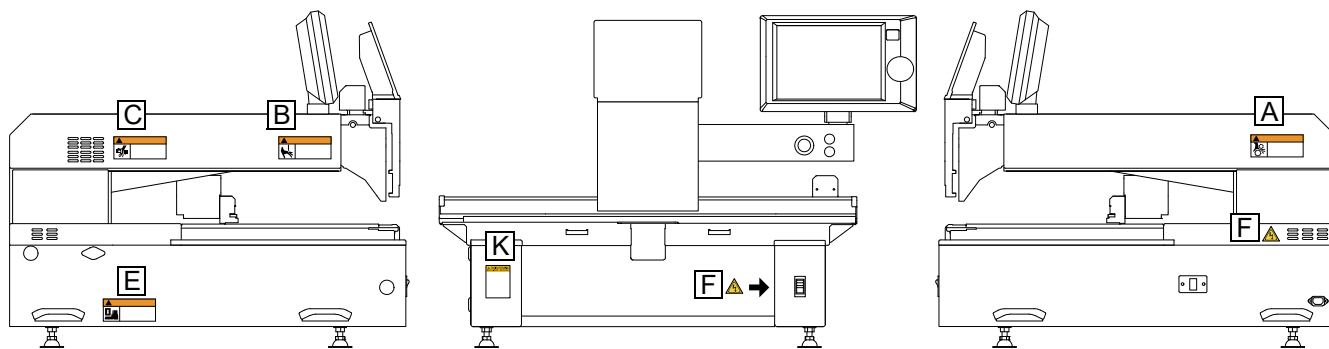
■ TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC



■ TMBU2-SC



■ TMBP2-XC



第3章 安全装置

安全対策として以下の安全装置を備えています。

1. 非常停止スイッチ

非常停止スイッチは、機械の前面に配置されています。

事故防止、危険回避など、運転中の機械を緊急に停止させる必要があるときは、非常停止スイッチを押してください。

⚠ 注意

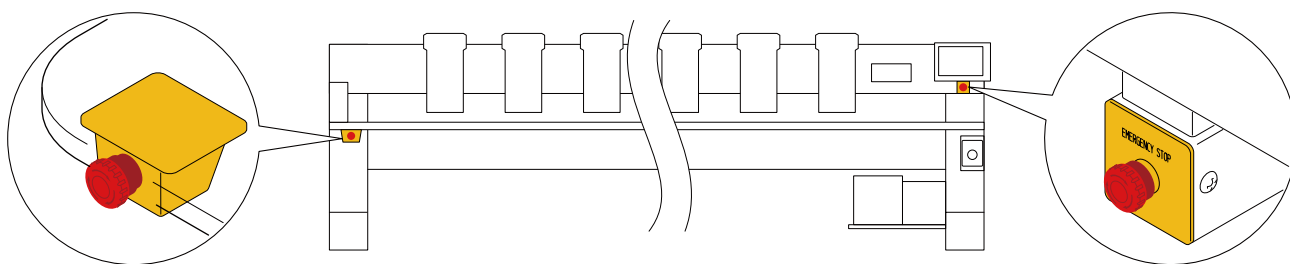
- ❗ 機械を初めて使用されるときは、非常停止スイッチの位置をあらかじめ確認しておいてください。
- 🚫 非常停止スイッチを通常の電源 OFF に使用しないでください。



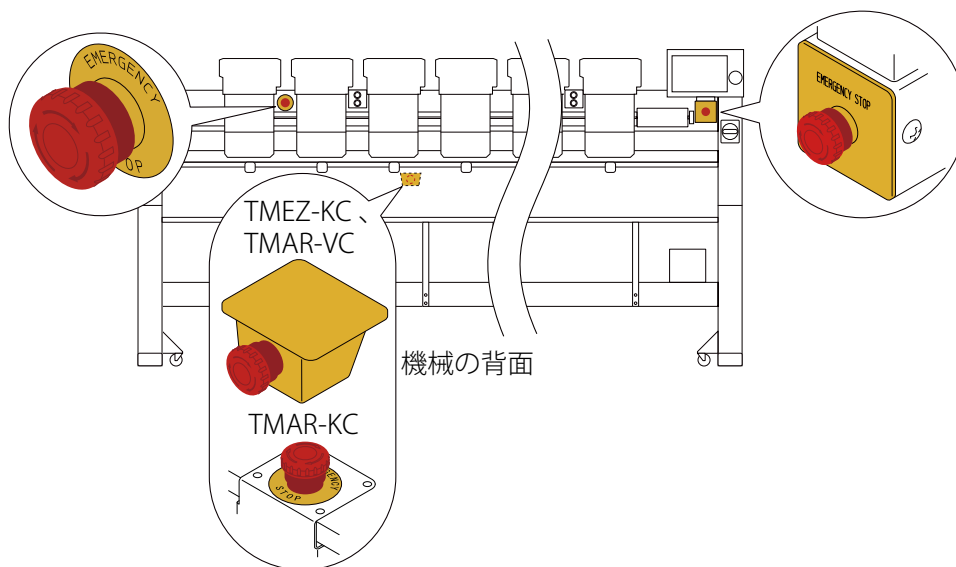
- ・機種や仕様によって、非常停止スイッチの配置場所、個数が異なります。また、機械の背面にも配置されている場合があります。
- ・非常停止スイッチの形状は、機種によって異なる場合があります。

1-1. 非常停止スイッチの配置

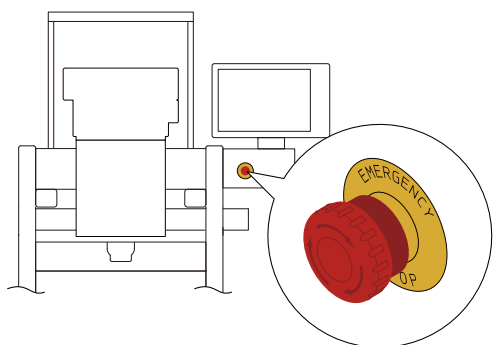
■ TMCR-VF、TMCP-VF



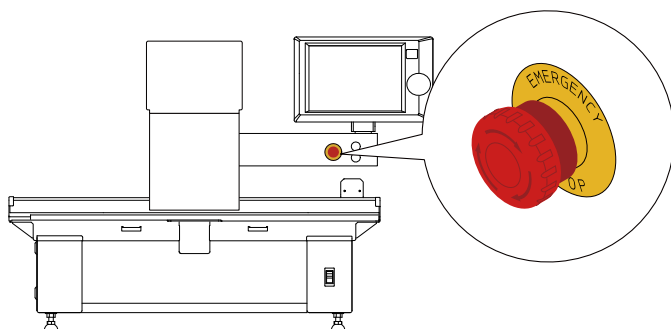
■ TMEZ-KC、TMAR-KC、TMAR-VC



■ TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC、TMBU2-SC



■ TMBP2-XC



1

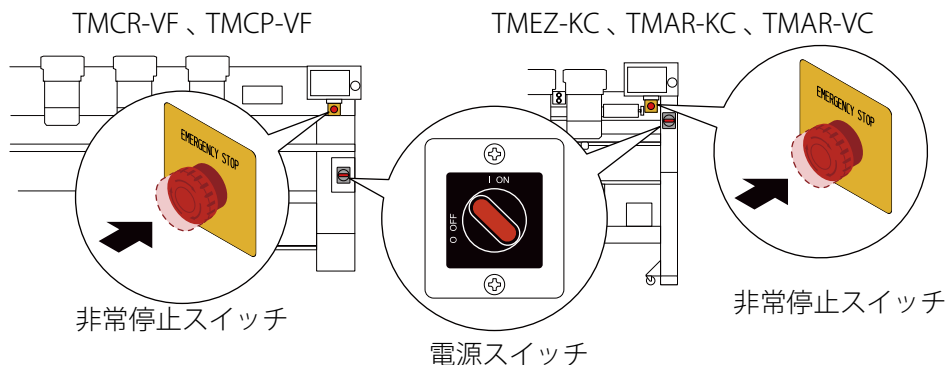
2

3

1-2. 非常停止スイッチの押下

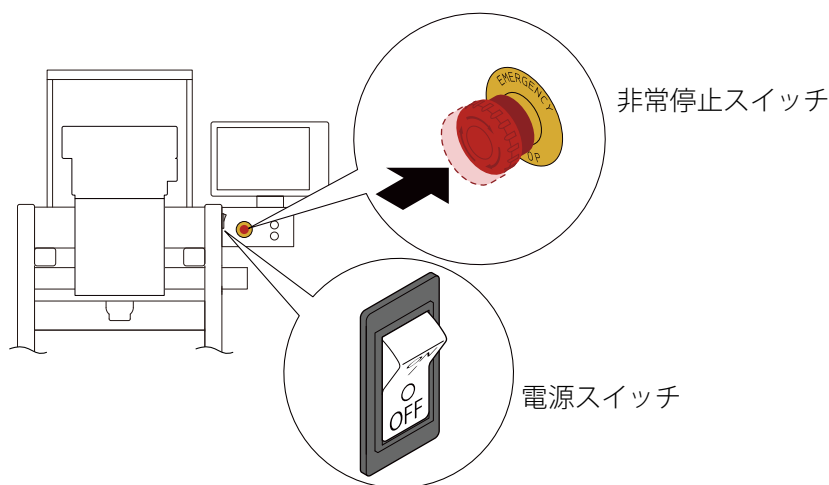
■ TMCR-VF、TMCP-VF、TMEZ-KC、TMAR-KC、TMAR-VC

非常停止スイッチを押すと機械は即時に停止します。その結果、非常停止スイッチは押された状態でロックされ、電源スイッチはON – OFF の中間位置となります。



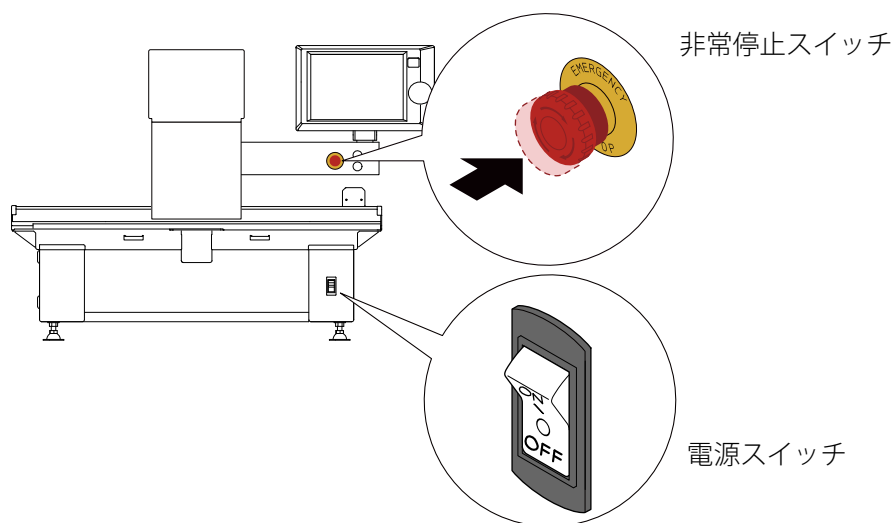
■ TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC、TMBU2-SC

非常停止スイッチを押すと機械は即時に停止します。その結果、非常停止スイッチは押された状態でロックされ、電源スイッチはOFF になります。



■ TMBP2-XC

非常停止スイッチを押すと機械は即時に停止します。その結果、非常停止スイッチは押された状態でロックされ、電源スイッチは OFF になります。



1-3. 非常停止スイッチの解除

解除方法は、機種や仕様によって異なります。

⚠ 注意

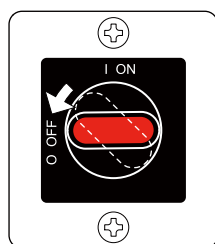
- ❗ 解除作業は、安全が確保されていることを確認してから始めてください。
- ❗ 電源を入れ直すときは 30 秒以上空けてください。システムが正常に立ち上がらない場合があります。
- ❗ 電源復帰するときはテーブルの上に手などを置かないでください。枠が移動して負傷するおそれがあります。

■ TMCR-VF、TMCP-VF、TMEZ-KC、TMAR-KC、TMAR-VC

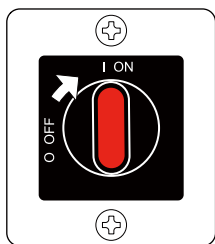
- 1 非常停止スイッチを右に回す。
ロックが解除されます。



- 2 中間位置にある電源スイッチを一旦「OFF」にする。



1. 非常停止スイッチ




- 30 秒以上待つてから、電源スイッチを「ON」にする。
システムが立ち上がります。
また、機械の運転中に非常停止した場合はメッセージ画面が表示されます。



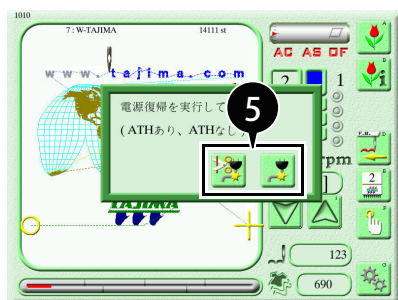
- 機械の停止中に非常停止した場合はメイン画面が表示されます。



- メッセージ画面の  を押す。
電源復帰の選択画面が表示されます。



- 画面の表示内容は機種によって異なります。



- 電源復帰の方法を選択する。



: 糸を切ってから電源復帰



: 糸を切らずに電源復帰



- 電源復帰すると枠は絶対原点を確認する動きの後、電源が切れたときの枠位置よりも数針分戻った位置に移動します。

■ TMEZ-SC、TMBR2-SC、TMBP2-SC、TMBU2-SC、TMBP2-XC




- 非常停止スイッチを右に回す。
ロックが解除されます。
- 30 秒以上待つてから、電源スイッチを「ON」にする。
システムが立ち上がります。また、機械の運転中に非常停止した場合はメッセージ画面が表示されます。



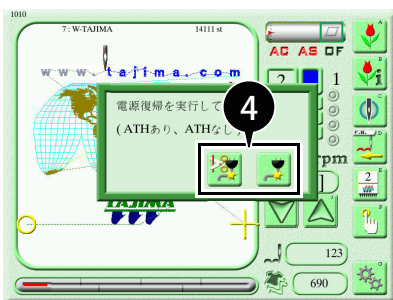
- 機械の停止中に非常停止した場合はメイン画面が表示されます。



- 3 メッセージ画面の  を押す。
電源復帰の選択画面が表示されます。



- 画面の表示内容は機種によって異なります。



- 4 電源復帰の方法を選択する。



：糸を切ってから電源復帰



：糸を切らずに電源復帰



- 電源復帰すると枠は絶対原点を確認する動きの後、電源が切れたときの枠位置よりも数針分戻った位置に移動します。

初 版 2018 年 5 月

第 6 版 2025 年 11 月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地
TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町 1800 番地
TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230